令和４年度　第４２回近畿高等学校空手道大会実施要項

（第４２回全国高等学校空手道選抜大会近畿地区予選）

主　催　　近畿高等学校体育連盟　　　　　　　　　　　　滋賀県教育委員会

　　　 共 催　　大津市

 後　援　　（公財）全日本空手道連盟　　　　　　　　　　全日本空手道連盟近畿地区協議会

　　　　　　　　 （公財）全国高等学校体育連盟空手道専門部　　滋賀県空手道連盟

　　　 主　管　　近畿高等学校体育連盟空手道専門部　　　　　　滋賀県高等学校体育連盟空手道専門部

１　期　　日　　令和４年１２月２５日（日）～２７日（火）

２　会　　場　　ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）

　　　　　　　　　〒520‐0801　　滋賀県大津市におの浜４丁目２―１２

　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL：077

524-0221

３　競技種目　　男子団体組手（５人制・３人制）・男子団体形

男子個人組手（選抜予選（‐55㎏、‐61㎏級、‐68㎏級、‐76㎏、＋76㎏級）・統合戦）

男子個人形

　　　　　　　　女子団体組手（５人制・３人制）・女子団体形

女子個人組手（選抜予選（‐48㎏、‐53㎏級、‐59㎏級、＋59㎏級）・統合戦）

女子個人形

４　日　　程　　１２月２５日（日）　　　 11：00～12：00　　受付・計量

11：30～12：00　　審判・監督会議

13：20～13：30　　開始式

13：30～17：20　　競　技

　　　　　　　　　　男女団体形競技（第１ラウンド～決勝）

　　　　　　　　１２月２６日（月）　　　　8：30　　　　　　実行委員集合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　8：45　　　　　　体育館開館

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　9：30～19：00　　競　技

　　　　　　　　　　男女個人組手競技(選抜予選)

男女個人組手（統合戦）

男女個人形競技 (第１ラウンド～決勝)

　　　　　　　　　　男女団体組手競技（３人制）（１回戦～決勝）

　　　　　　　　１２月２７日（火）　　　　8：30　　　　　 実行委員集合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　8：45　　　　　　体育館開館

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　9：10～15：30　　競　技

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 男女団体組手競技（５人制）（１回戦～決勝）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 15：40～16：00　　閉会式

※　計量について　男女個人組手（選抜予選）に出場するすべての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。

　　実施日時　　　12月25日（日）11：00～12：00 及び13：30～14：30（この時間帯であれば何度でも計量することができる）

　　実施場所　　　男子：男子更衣室　　　　女子：女子更衣室

　　服　　装　　　男女とも上衣はＴシャツ、下衣はスパッツ（ハーフサイズ）とし、計測値から0.5㎏引く。

　　失　　格　　　この時間帯に計量を受けなかったり、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は失格となり、男女個人組手（選抜予選）の出場資格を失う。ただし団体組手においてはその限りではない。体重区分に適していないというのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。

５　競技規定　　　（公財）全日本空手道連盟制定の空手競技規定に準じて行い、運用については（公財）全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項による。

　　**ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、(公財)全日本空手道連盟感染拡大防止ガイドラインに則り、下記の通りとする。**

**<形競技>**

**・試合場への入退場はマスクを着用すること　※試合時にマスク着用の義務はない**

**・競技中の気合は可とする**

**・形名の呼称は競技規定の通り行う。ただし怒鳴るような呼称はせず抑えた発声とする。**

**・団体形の分解については実施予定だが、今後の感染状況によっては実施しない場合もある。**

**<組手>**

**・メンホー+メンホー用マウスシールドの着用を義務付ける**

**・競技場への入退場時はマスクを着用し、競技中はメンホー+メンホー用マウスシールドを着用し、競技中の気合い発声は可とする**

**・試合中にメンホー或いは、マウスシールドが取れた場合、試合は一旦停止をし、ソーシャルディスタンスを保ち、安全具を装着し、試合を再開すること**

６　競技方法　　①形競技は得点方式、組手競技はトーナメント方式で行う。

　　　　　　　　②組手競技について

　　　　　　　　　ア：選抜予選（全国高校空手道選抜大会近畿予選）

　　　　　　　　　　　体重別でトーナメントを実施し、各階級で全国選抜大会への出場者を決定する。すでに全国選抜への推薦出場権を獲得している選手は出場できない。

　　　　　　　　　イ：統合戦（近畿高校空手道大会　男女個人組手競技）

　　　　　　　　　　　アの全国選抜予選で出場権を獲得した者と全国選抜の推薦出場権を得ている者でトーナメントを実施する。このトーナメントでの結果が個人組手競技の順位となる。

③団体競技において、登録されたメンバーの枠の中で、各回戦（形はラウンド）のオーダーの変更はできる。ただし、試合ごとにオーダー票を提出すること。提出後の変更は認めない。

④個人競技において登録された選手の変更は認めない。

⑤個人形競技の第１ラウンドは（公財）全日本空手道連盟指定形（第１・２どちらでもよい）とし、第２・３ラウンド及び３位決定・決勝は得意形とする。各ラウンド毎に演武する形は変えること。

　但し、第１指定形・第２指定形及び得意形は空手道競技規定（JKF2019初版）の「付録17：得意形リスト」並びに「付録18：得意形リスト」から選択しなければならない。

⑥団体形競技の第１・２ラウンドは（公財）全日本空手道連盟指定形（第１・２どちらでもよい）とし、同一形でも異なる形でもよい。第３ラウンドは第１・２ラウンドで使用していない形とし、３位決定・決勝はそれ以前に使用していない形とする。

⑦各ラウンド上位進出決定及び３位決定・決勝で同点が出た場合、再演武を行う。演武する形は、そのラウンドで使用した形以外を選択し演武すること。再演武した形は、本選で使っていなければ、以降のラウンドで演舞することができる。

⑧団体組手競技（５人制）は、３回戦以降では勝敗がついた段階で終了する。

⑨団体組手競技（５人制）は既定の過半数（３人）で成立する。エントリーは自由に配置できる。

⑩団体組手競技（３人制）は、２回戦以降では勝敗がついた段階で終了する。

⑪団体組手競技（３人制）は既定の過半数（２人）で成立する。エントリーは自由に配置できるが、対戦する双方のチームが２人エントリーの場合のみ、配置は前詰めとする。

７　審 判 員　　（公財）全国高等学校体育連盟空手道専門部公認審判員の内、近畿高等学校体育連盟空手道専門部が要請した審判員とする。

８　引率・監督　①引率責任者は、団体戦の場合は当該校の校長が認める当該校の職員とする。

　　　　　　　　　個人戦の場合は当該校の校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第７８条の２に示された者）も可とする。但し、当該府県高体連会長に事前に届けること。引率責任者は当該校の選手・参加生徒のすべての行動に対して責任を負うこと。

　　　　　　　　②監督・コーチは当該校の校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険など）に必ず加入すること。

９　参加資格　　①選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

　　　　　　　　②各府県高等学校体育連盟に加入している高等学校の１・２年生（定時制課程は３年生まで認める）で近畿高等学校空手道大会参加資格を得たものに限る。

　　　　　　　　③ア：選手は平成１６年（2004）年４月２日以降に生まれたもので、１９歳未満のものとする。但し、同一学年での出場は一回限りとする。

　　　　　　　　　イ：特例として、この③アに定める年齢制限について、帰国生徒については適用しない。

　　　　　　　　④チームの編成にあたって、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成チームは認め

　　　　　　　　　ない。

　　　　　　　　⑤転校後６ヵ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住などやむを得ない場合は各府県高体連会長の認可があればこの限りではない。

　　　　　　　　⑥出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び府県高体連空手道専門部部長の承認を必要とする。

　　　　　　　　⑦（公財）全日本空手道連盟の令和４年度登録競技者であること。

　　　　　　　　⑧引率者のいない学校の出場は認めない。

　　　　　　　　⑨参加資格の特例

　　　　　　　　　ア：上記①・②に定める生徒以外で、当大会実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

　　　　　　　　　イ：上記③アの但し書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技３回限りとする。

　　　　　　　　　ウ：上記④において、統廃合の対象校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

　　　　　　　　【別途に定める規定】

　　　　　　　　　Ⅰ．学校教育法第８２条の２、８３条の学校に在籍し、府県高体連の大会参加を認められた生徒であること。

　　　　　　　　　Ⅱ．以下の条件を具備すること

　　　　　　　　　　①大会参加資格を認める条件

　　　　　　　　　　　ア．（公財）全国高体連の目的、永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

　　　　　　　　　　　イ．各学校にあっては、府県高体連の予選会から出場が認められ、近畿大会への出場条件が満たされていること。

　　　　　　　　　　　ウ．各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間などが高等学校に比べて著しく均等を失っておらず、適切な運営が行われていること。

　　　　　　　　　　②大会参加に際して守るべき条件

　　　　　　　　　　　ア．本大会の実施要項を厳守し、（公財）全国高体連空手道専門部ならびに本大会の申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

　　　　　　　　　　　イ．大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

　　　　　　　　　　　ウ．大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

10　参加制限　　①各府県の参加上限を下記のとおり定める。（各府県の加盟校数に準じる）

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　競技府 県 名 | 男子 |
| 団　体 | 個　人 |
| 組手(5人制) | 組手(3人制) | 形 | 基本枠 | 組手 | 府県裁量数 | 形 |
| -55㎏ | -61㎏ | -68㎏ | -76㎏ | ＋76kg |  |  |
| 和歌山県 | ４ | ２ | ４ | ８ | １ | １ | １ | １ | １ | ３ | ６ |
| 奈 良 県 | ３ | ２ | ３ | ７ | １ | １ | １ | １ | １ | ２ | ５ |
| 滋 賀 県 | ２ | ２ | ２ | ６ | １ | １ | １ | １ | １ | １ | ４ |
| 京 都 府 | ４ | ２ | ４ | ８ | １ | １ | １ | １ | １ | ３ | ６ |
| 大 阪 府 | ８ | ４ | ８ | １０ | １ | １ | １ | １ | １ | ５ | ８ |
| 兵 庫 県 | ８ | ４ | ８ | １０ | １ | １ | １ | １ | １ | ５ | ８ |
| 開催地追加 | １ | １ | １ | ２ | 同一階級１名まで | ２ | ２ |

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　競技府 県 名 | 女子 |
| 団　体 | 個　人 |
| 組手(5人制) | 組手(3人制) | 形 | 基本枠 | 組手 | 府県裁量数 | 形 |
| -48㎏ | -53㎏ | -59㎏ | ＋59kg |  |  |
| 和歌山県 | ４ | ２ | ４ | ７ | １ | １ | １ | １ | ３ | ６ |
| 奈 良 県 | ３ | ２ | ３ | ６ | １ | １ | １ | １ | ２ | ５ |
| 滋 賀 県 | ２ | ２ | ２ | ５ | １ | １ | １ | １ | １ | ４ |
| 京 都 府 | ３ | ２ | ３ | ６ | １ | １ | １ | １ | ２ | ５ |
| 大 阪 府 | ８ | ４ | ８ | ９ | １ | １ | １ | １ | ５ | ８ |
| 兵 庫 県 | ８ | ４ | ８ | ９ | １ | １ | １ | １ | ５ | ８ |
| 開催地追加 | １ | １ | １ | ２ | 同一階級１名まで | ２ | ２ |

　　　　　　※　個人組手は同一階級最大３名とする。ただし、総出場数９名以上となる府県は最大４名とする。開催府県枠の階級は任意とする。

　　　　　　※　令和４年度全国高校総体団体組手優勝校、令和４年度全国高校代表選手は本年度全国高校空手道選抜大会への推薦出場権を有しているため、当該府県からの参加申請があれば、上記当該府県の参加上限の枠外で当大会への参加を認める。

　　　　　　　　②１チームの制限人数は次のとおりとする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種　　　目 | 正選手 | 補　欠 | 合　計 |
| 男子団体組手競技（５人制） | ５ | ３ | ８ |
| 男子団体組手競技（３人制） | ３ | １ | ４ |
| 女子団体組手競技（５人制） | ５ | ３ | ８ |
| 女子団体組手競技（３人制） | ３ | １ | ４ |
| 男子団体形競技 | ３ | ３ | ６ |
| 女子団体形競技 | ３ | ３ | ６ |

　　　　　　　　③各校、監督１名・コーチ１名・マネージャー１名の参加を認める。

11　参 加 費　　①団体種目　　　１チーム　１８，０００円

　　　　　　　　②個人種目　　１人一種目　　４，０００円

12　参加申込　　①締切期日　　令和４年１１月１１日（金）必着

　　　　　　　　②申込先　　〒524-0022　　滋賀県守山市守山３丁目１２-３４

県立守山高等学校　　鈴木健吾　宛

　　　　　　　　③申込方法　　各出場校から直接「参加申込書」「エントリー票」（校長印を捺印）を上記申込先に

**≪レターパックライト≫**で送付すること。また、データはメールで、

shiga\_42th\_kinki\_karatedou@hotmail.com（県立守山高等学校：鈴木健吾　宛）に送信すること。

　　　　　　　　④振込先　　参加費を下記の口座に振り込むこと。

 ゆうちょ銀行　口座番号：14640-7225291 (金融機関コード:9900)

　　口座名　：滋賀県高体連空手道大会事務局 代表者　平松壮一

* 他金融機関から振り込む場合は

　店名：四六八ヨンロクハチ　　普通預金　口座番号0722529

13　表　　彰　　個人組手（選抜予選・統合戦）は３位まで賞状と賞品を授与する。その他の種目は、３位まで賞状と賞品を授与し、５位（形は７位まで）は賞状を授与する。

14　抽選会　　近畿高体連空手道専門部が主管して執り行う。なお、公開抽選とする。

　　　　　　　　日時：令和４年１１月１９日（土）13：00～15：00

　　　　　　　　会場：守山高等学校　セミナーハウス

15　宿泊・弁当　別紙で指定旅行代理店（株式会社JTB　滋賀支店）に申し込むこと。

16　会　　議　　①近畿役員会議　　令和４年１２月２５日（日）　10：00～11：00　滋賀県立武道館中会議室

　　　　　　　　②審判・監督会議　　令和４年１２月２５日（日）　11：30～12：00　滋賀県立武道館大会議室

17　事故処理　　競技中の疾病や傷害の応急処置は大会開催地にて行うが、その後の処置は各府県・各校の責任で行うこと。傷害保険の加入の上実施するが、参加校においても万一の事故発生などに備えて、万全の事故対策を講じておくこと。（選手は健康保険証を持参のこと）

18　肖像権　　　本大会は無観客試合のため保護者や関係者が試合を観戦することができない。そこで大会の模様を動画配信(ライブ配信)することを予定している。

　　　　　　　　そんな事情から、肖像権の取扱いについて下記の通りとする。

　　　　　　　　①近畿高体連空手道専門部が認めた報道機関等によって撮影された映像が中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。

 ②大会参加申込書の提出により、前記①の取扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。

　　　　　　　　③肖像権についての質問等がある方は下記まで連絡すること。

　　　　　　　　近畿高体連空手道専門部本部　大阪学芸高校

　近藤　永(こんどう　えい)　TEL06-6693-6303

19　連絡事項　　①プログラムの無償配布は、各校ともエントリー正選手分＋１冊とする。

　　　　　　　　②空手道衣とネーム等

　　　　　　　　　ア．空手道衣は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止する。また、帯の色は白・茶・黒いずれかとする。競技については、赤・青帯を使用する。

　　　　　　　　　　　　ａ．上着の袖の長さは手首までとし、前腕の中ほどより短くてはならない。上着の袖の空きは、袖全体にわたって袖と腕との間が8㎝～20㎝とする。上着の袖をまくってはならない。

　　　　　　　　　　　　ｂ．ズボンの長さは少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、踝（くるぶし）が隠れてはならない。ズボンの空きは、ズボン全体にわたってズボンと脚の間が8㎝～20㎝とする。裾をまくり上げてはならない。

　　　　　　　　　　　※上記はいずれも「気を付け」の状態で判断する。

　　　　　　　　　　　　ｃ．競技用赤・青帯については、個人または学校で準備し着用すること。（指定業者（東海堂・守礼堂・ヒロタ）のもので、高体連指定ラベルを縫い付けたものに限る。）

　　　　　　　　　イ．空手道衣の左胸に入れる校名は、次の基準による。

　　　　　　　　　　　　ａ．一文字の大きさは5㎝×5㎝～7㎝×7㎝とする。（縦書で全体の大きさ7㎝×15㎝程度）

　　　　　　　　　　　　ｂ．字体は丸ゴシック・行書・楷書の範囲とする。

　　　　　　　　　　　　ｃ．文字の色は黒または紺またはスクールカラーとする。但し、色を合わせて使うことはできない。

　　　　　　　　　ウ．空手道衣の左袖上腕部に入れる府県名は、次の基準による。

　　　　　　　　　　ａ．一文字の大きさは5㎝×5㎝～7㎝×7㎝とする。

　　　　　　　　　　　　ｂ．「府」「県」の文字は入れなくてよい。

　　　　　　　　　　　　ｃ．字体・文字の色については、上記のイのｂ、ｃに準ずる。

　　　　　　　　　　エ．空手道衣に入れる個人名は、次の基準による。

　　　　　　　　　　　　ａ．入れなくてもよい。入れる場合は黒色とする。（白色も禁止）

　　　　　　　　　　　　ｂ．入れる場合は、自分の姓（名字）またはフルネームであることが望ましい。

　　　　　　　　　　　　ｃ．入れる場所は所定の位置とする。（道衣の背中に個人名を入れるのは不可）

　　　　　　　　　オ．上着の腰紐が付いているものを着用し、試合時は縛っていなければならない。また、上着の胸紐は付けてはいけない。

　　　　　　　　　カ．空手道衣の背部に、全国高体連指定の「令和４年度 都道府県大会・地区大会用ゼッケン」を縫い付けること。四隅ではなく、四辺をしっかりと縫い付けること。

　　　　　　　③組手競技では、次の安全具を着用のこと。（男子５点、女子４点）

　　　　　　　　　ア．ニューメンホーⅥ・Ⅶ（全空連検定のもの）

　　　　　　　　　イ．拳サポーター赤・青（全空連検定のもの）

　　　　　　　　　ウ．ボディープロテクター（高体連指定またはミズノ製のもの）

　　　　　　　　　エ．セーフティカップ（男子のみ、空手道衣の下に着用のこと）

　　　　　　　　　オ．シンガード・インステップガード（高体連指定のもの）

　　　　　　　　　カ．マウスピースを使用してもよい（任意）。ただし、色は白か透明なものとする。

　　　　　　　　④組手競技・形競技ともにメガネ・コンタクトレンズ（ハード）の使用は禁止する。

　　　　　　　　　ただし、コンタクトレンズ（ソフト）の使用は個人の責任において認める。

　　　　　　　　⑤監　督

　　　　　　　　　ア．監督はトラックスーツ（ジャージ）を着用し、あらかじめ届けだされた者に限る。（学校長が認めた者）但し、トラックスーツには学校名を入れるものとし、入れる場所、大きさ、字体は問わない。また華美なトラックスーツは避ける。（スクールカラーは可）※ハーフパンツのトラックスーツは禁止する。

　　　　　　　　　イ．監督と審判員を兼ねることは出来ない。（大会プログラム記載のみ認める）

　　　　　　　　　ウ．監督は各校１名とするが、競技日程の関係で男女あるいは選手が重複して出場し、同時進行になった場合に限り、運用として当該校の校長が認めた顧問・コーチが、その競技のみの臨時監督を務めることができる。

　　　　　　　　　　　ただし、事前に競技委員長に申し出る義務を有する。

　　　　　　　　⑥選手の頭髪は、空手道を学ぶ者らしく清潔で端正なものとする。

　　　　　　　　　　　　　　　男子はスポーツマンらしい頭髪にし、長くても「まゆげ」にかからず、「耳」が見え、「エリアシ」が見えるように整髪する。女子は、ヘアピンなどの危険物の使用及びリボン・鉢巻の使用を禁止する。

　　　　　　　　⑦怪我などを患っている生徒については、監督の責任で出場をとりやめること。

　　　　　　　　⑧審判員の服装

　　　　　　　　　高体連ネクタイ・靴（黒色無地、踵・紐のないもの、全空連指定のものが望ましい）

　　　　　　　　　ズボン（グレー系の無地）・ブレザー（紺色、シングル・エンブレム）、白色長袖カッターシャツ

 ⑨本大会は無観客試合とします。一般の方は入場できません。登録選手と申込用紙に記載されている

監督、審判員、各校顧問(引率者)、補助役員生徒、大会ドクター以外は大会会場には入場できません。

⑩必要以上に早く来場しないでください。観覧席の座席は全席指定です。

練習場所の使用も制限しますので、場所取りしても意味がありません。

　　　　　　　　⑪大会後のミーティングを行う場合は３つの密(密閉・密集・密着)を避け感染予防に

十分配慮してください。

　　　　　　　　⑫感染拡大の状況によっては大会を中止する場合があります。

　　　　　　　　⑬感染防止に非協力的な学校があり、要請や指導に従わず感染防止策が十分に行えない場合は大会を中止、あるいは途中で打ち切ることがあります。

**【新型コロナウイルス感染防止対策としての遵守事項】**

**◎ 下記に当てはまる人は参加を見合わせてください。**

**・体調がよくない場合　(例)発熱、咳、咽頭痛などの症状のある場合**

**・同居家族や身近な知人が感染を疑われている場合**

**・過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者**

**との濃厚接触がある場合**

**◎ 感染予防のために下記の事柄を必ず守ってください。**

**・マスク着用(試合時を除く) ※審判員は試合中もマスクを着用すること**

**・手洗い、手指消毒を徹底してください。**

**・ソーシャルディスタンスの確保に努めてください。**

**・大会を通じて大きな声で会話をしないこと。**

**・感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、指示に従うようにしてください。**

**・大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグなどを行わないようにしてください。**

**◎ 大会終了後、２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者に対し速やかに報告してください。**

**◎ 選手・監督・コーチによる以下の行為は自粛するようにしてください。**

**・写真撮影、サイン、握手、ハイタッチ、円陣等**

**・グリーティングや出迎え・見送り。**

**・プレゼントやお手紙等の贈り物の授受。**

**・選手同士の声を出しての応援、アドバイス。**

**※選手が整列する時は、縦、横の間隔は１ｍ以上は確保するようにしてください。**